

安全データシート (SDS)

製品及び会社情報

製品名 モノタロウ リチウムグリース
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M170330

作成日 2017/03/28

危険有害性の要約

GHS分類

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 区分3

水生環境有害性(長期間) 区分3

※記載のない項目は「区分外」、「分類対象外」、「分類できない」のいずれかである。

GHSラベル要素

絵表示

なし

注意喚起語 なし

危険有害性情報

有用な情報なし

注意書き

応急措置 p. 1 に記載

取り扱い p. 2 に記載

保管 p. 2 に記載

廃棄 p. 3 に記載

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物
成分及び含有量 : 鉱油、リチウム石けん、添加剤
消防法 : 非危険物
国連分類及び国連番号 : 非該当
労働安全衛生法 : 鉱油 90～100% (通知対象物)
P R T R 法 : 非該当

応急措置 目に入った場合 : 清浄な水で最低15分間を洗浄後、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合 : 水と石けんで付着した部分を洗う。
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布等で覆い、保温して 安静に保ち
必要なら医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、医師の手当を受ける。
口の中が汚染されている場合、水で十分洗う。

火災時の措置 消火法 : 火元への燃焼源を断つ。
初期の消火には、粉末、炭酸ガス消化剤を用いる。
大規模火災の際には、泡消化剤を用いて空気を遮断することが有効である。
消火剤 : 霧状の強化液、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。
棒状の水を使用しない。

漏出時の措置：周囲の着火源を取り除く。

大量の場合：漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
作業の際は必ず保護具を着用する。漏洩したグリースをできるだけ回収する。
土壌、河川、湖沼、海域、下水道等に排出されないように注意する。
少量の場合：土砂、ウエス等で吸着させて回収し、完全にウエス等で拭き取る。
海上の場合：オイルフェンスを展開して拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。薬剤を使用する場合、技術上の基準に適合したものを使用する。

取扱い及び
保管上の注意

取扱い：炎、火花または高温体との接触を避ける。
必要に応じて保護具を着用する。
使用後は手洗いを十分する。
保管：直射日光が当たらない屋内の涼しい場所で保管する。
水分、異物が混入しないように、容器は必ずふたを閉める。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

暴露防止措置

管理濃度 規定なし（作業環境基準：平成21年厚生労働省告示第194/195号）
許容濃度 日本産業衛生学会（2012年度版）：3mg/m³（鉱油ミストとして）
ACGIH(TWA)（2012年度版）：5mg/m³（鉱油ミストとして）
設備対策 取扱場所の近辺に洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具 呼吸用保護具：通常は必要で無いが、必要に応じて防毒マスクを着用する。
保護眼鏡：飛沫が飛ぶ場合、普通型眼鏡を着用する。
保護手袋：長期間または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。
保護衣：長時間にわたり取り扱う場合または濡れる場所には耐油性の
長袖作業服等を着用する。

物理／化学的性質

外観等 黄褐色半固体、ほとんど無臭
滴点 176℃
揮発性 なし
密度 0.93g/cm³
溶解度 水に不溶

危険性情報

引火点 221℃
発火点 データなし
爆発限界 1～7vol%（推定値）
可燃性 あり
自然発火性 なし
酸化性 なし
自己反応性 なし
安定性 安定
反応性 強酸化剤との接触を避ける。

有害性情報

刺激性（皮膚、眼）：長期または繰り返して接触する場合、炎症、痛み等が生じる恐れがある。
急性毒性：経口 LD₅₀>5000mg/kg（ラット）
経皮 LD₅₀>5000mg/kg（ウサギ）
吸入（ミスト） LC₅₀>5mg/L（ラット、4h）
発がん性：鉱油：IARCではグループ3に分類（ヒトに対して発がん性については分類できない）。
EUによる評価では発がん性物質としての分類は適用される必要はない。

変異原性	有用なデータなし
慢性毒性	有用なデータなし
感作性	有用なデータなし
催奇形性	有用なデータなし
生殖毒性	有用なデータなし

環境影響情報 分解性、蓄積性、魚毒性：いずれも有用なデータなし

廃棄上の注意 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

輸送上の注意 輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか、容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。
さらに、関連法令に従った措置も講じる。

適用法令 労働安全衛生法 : 鉱油（通知対象物）
水質汚濁防止法 : 油分排出規制（許容濃度 5mg/L、n-ヘキサン抽出分として）
海洋汚染防止法 : 油分排出規制（原則禁止）
下水道法 : 鉱油類排出規制（5mg/L）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

参考文献 1. 製品安全データシートの作成指針（日本化学工業協会）
2. GHS対応による混合物（化学物質）の作成手法の研修テキスト（改訂版）
（中央労働災害防止協会）
3. 原料のSDS

注意事項 この安全データシート(SDS)は通常の実用を想定して作成したものです。
SDSは安全の保証を約束するものではありません。
取扱者は状況に応じた処理を行ってください。
SDSの内容は新たな知見により予告なく変更することがあります。